

今回は記念特集号（101号—新世紀1号）として発行予定です。乞うご期待。



1996. 3. 8
第100号

発行 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭
編集 沼田 昭



若い命

会津教育事務所総務次長

芳賀 英夫

昨年の暮れも押し迫った時期、東京にいる娘の計らいで沖縄本島への旅に妻と連れだって参加することができた。

珊瑚礁の青い海、琉球王朝時代の文化、史跡、そして沖縄戦の哀しいエピソードを持つ当地に、一度は訪ねてみたいという願いがかなったのである。なかでも第二次大戦が終結して五十年が経った今、平和を改めて考える意味でも是非訪れたいと思ったのが沖縄南部戦跡、「ひめゆりの塔」であった。

中学生のころ、当時の清純スター香川京子が出演した映画「ひめゆりの塔」を見たときの悲惨な映像がとてもしつなく、重い気持ちで映画館を出たことを覚えている。

戦争は、男同士が戦うものと思っていた当時の私は、沖縄師範学校女子部、沖縄県立第一高等女学校

在学中の十五歳から十九歳までの少女たちが、看護要員として動員され、引率教師と共に、その多くが船らぬ人となったことを知り、いつの日か沖縄へ行って敬虔な祈りを捧げたいと思っていた。

沖縄は、戦争末期九十日に渡って日本国内唯一の地上戦が展開された地であること、戦争の犠牲者が県人口の三分の一を超え、その中に女生生看護隊の爆死、自決があったこと、こうした少女たちの死を悼んで今なお、「ひめゆりの塔」に花を手向ける人が絶えないこと等々、ガイド嬢から静かな、だが明瞭な語り口で説明があった。

塔は、色とりどりの花で埋まっていた。少女たちの御霊に手を合わせ、資料館に入ると、そこは少女たちの鎮魂の世界であった。数々の遺品、生存者による証言

などを目にするうち、三面の壁にぎっしりと並んだ二百六名の遺影は、次のような訴え、叫びが聞こえるように思えた。

○私たちは、生きる権利さえも奪われ死の戦場に駆り立てられ、それは恐ろしい地獄でありました。

○いかなる戦争も二度と起こしてはなりません。戦争はあらゆる人の幸せを奪ってしまします。

○戦争のない平和な時代を過ごしたかった。そしてもっともっと生きたかった。

今、学校では、いじめに苦しんで死の選択をする生徒が後を絶たない。決して死を選択してはならないし、選択させてはならない。いじめも戦争も絶対あってはならない。夢多き無限の可能性を秘めた若い命は最も尊いものである。

遺影たちの無言の訴えを胸中にし外に出ると、平和の祈りを込めて奉納された「福島県若松四中生徒会」と記された千羽鶴をみつめ、救われた気持ちで塔を後にした。

平成七年度の計画訪問や要請訪問が、計画どおりに実施され終了した。

各学校においては、児童生徒の内発的な学習意欲を高めるとともに、思考力、判断力、表現力を駆使する学習過程を通して知識・理解、技能を獲得し、定着できるように学習指導法の改善・工夫をし、新しい学力観に立つ基礎学力の向上に努めている。

これからの教育においては、社会の変化にしなやかに対応する中で、自分自身の生き方、ものの見方や考え方などを持ち、個性を發揮するとともに、生涯にわたり生きがいと調いのある生活を営むことのできる人間の育成を図ることが期待され、ますます一人一人に新しい学力観に立つ基礎学力の向上を図ることが求められている。

今後各学校においては、次の点に配慮をし、指導の充実に努める必要がある。

基礎学力向上を目指して

- ① 計画の段階で配慮すべきこと
 - ① 教科における基礎的・基本的な内容を分析し、基礎学力を明確にする。
 - ② 単元・題材で獲得すべき知識・理解、技能を明確にする。
 - ③ 教材の系統性・発展性を考慮し、構造化を図る。
 - ④ 基礎学力の定着を図るための練習活動などを、単元指導
 - ② 前時との連続性を大切にしながら導入の工夫を図る。
 - ③ 既有的力を駆使し、自力で解決する場と時間を確保する。
 - ④ 体験的な活動や問題解決的な学習を積極的に取り入れる。
 - ⑤ 複線型の学習展開を設定するなど、個のよさが生かされるよう工夫する。
 - ⑥ 練習活動の場を設定するとともに、練習の時間を確保する。
 - ⑦ 個に応じた指導ができるよう、ティーム・ティーチングによる指導などを積極的に導入する。
 - ⑧ 深化・発展の段階で配慮すべきこと
 - ① 朝や放課後などに、個に応じた練習活動を計画する。
 - ② 学んで得た力を活用する場を設定する。
 - ③ 図書館や他の施設などを、有効に活用する計画を立てる。
 - ④ 家庭学習の充実を図るための、個に応じた助言・援助をする。
- 基礎学力の向上を図るためには、温かい人間関係の中で、「やる気」にさせて、一人一人に応じた支援を継続的に行うことである。

基礎学力向上の地区指定を受けて

西会津町内小・中・高等学校

地区指定研究紹介

平成六年度からの三年間、県教育委員会より基礎学力向上の地区指定を受け、西会津町内の小・中・高校の十一校が連携して、基礎学力向上のための学習指導の実践研究に取り組んでいる。研究教科は国語、算数・数学、英語で、相互に授業研究等を通して、組織的に研究を進めている。新しい学力観に立って、基礎的・基本的な内容を児童生徒自らが獲得できるようにして、学力の向上を図ることを最大の課題としている。

学力の実態を調査・分析して、全ての学校が共通的に取り組むべき五項目を、次のように設定した。

- 一、内発的学習意欲を喚起し、課題意識を高め、持続させる工夫
- 二、基礎的・基本的事項と前提事項の把握
- 三、学習過程の改善
- 四、個に応じた学習活動の工夫
- 五、評価の改善

各項目ごとに具体的改善事項を検討し、実践の方向付けをした。実際の研究推進では、研究三教科の各分会が、連携を図りながら中心的な役割を果たしている。

人間の心は見る事ができない。見えるものは、言葉や表情、様子や行動だけである。いじめや登校拒否等のサインやシグナルを気付けるかどうかは、教師としての感性によるのではないか。感性は、児童生徒に対する教師の思い入れ(愛情)によって磨かれる。

児童生徒が、教師自身の育ちの経験からくる理解の範囲をはるかに超えた存在となっていることに、教師はもっと早く気付かねばならない。児童生徒のありようと教師の認識のずれの問題に問題行動が噴き出す。あと一歩、教師の認識がそれを埋めるほうに寄っていたら、と思える

場面が、事例の中に見え隠れする。一 いじめや登校拒否が防げたかもしれない。

○ あの一言が、あのふざけが、サイン・シグナルと見抜くことができていたら。

二 生徒指導の機能が授業の中で生きたかもしれない。

○ 関連しても、先生に認められ

生徒指導の充実のために

また、各校が、自校の課題に就いて独自に取り組む内容がある。各校がテーマを定め、研究計画をもって実践中である。

最終年度の来年度に向けて、一層の基礎学力向上を目指し、地区を挙げて鋭意努力中である。

(文責・西会津中学校)

○ 児童生徒の言いたいことを、もう少しよく聞いていたら。

○ 全職員で対応する体制を、もう少し早く整えていたら。

○ 児童生徒の言いたいことを、もう少しよく聞いていたら。

○ 全職員で対応する体制を、もう少し早く整えていたら。

○ 生徒指導の機能が授業の中で生きたかもしれない。

○ 関連しても、先生に認められ



また、各校が、自校の課題に就いて独自に取り組む内容がある。各校がテーマを定め、研究計画をもって実践中である。

最終年度の来年度に向けて、一層の基礎学力向上を目指し、地区を挙げて鋭意努力中である。

(文責・西会津中学校)

受賞紹介

- 受賞おめでとうございます。(敬称略)
- 文部大臣表彰
- ・ 地方教育行政功労者 栗城 芳雄
 - ・ 前三島町教育委員会教育長
- ・ 地域文化功労者 宗像 亮一
- ・ 会津本郷町陶芸家
- ・ 社会教育功労者 渡部 宏
- ・ ボーイスカウト会津地区協議会長
- ・ 社会体育優良団体 会津体育協会
- ・ 学校給食優良学校等 金山町体育協会
- ・ 学校基本調査 新鶴村学校給食共同調理場
- ・ 会津若松市立一箕小学校
- ・ 全国体育指導委員連合会 設立二十周年記念
- ・ 元喜多方市体育指導委員長 加藤 浩
- 全国表彰関係
- ・ 全日本健康推進学校すこやか賞 会津若松市立東山小学校
 - 県教育委員会表彰
 - ・ 地方教育行政功労者 星 陽子
 - ・ 前喜多方市教育委員会委員長
 - ・ 学校教育功労者 讚岐 幸一
 - ・ 会津若松市立鶴城小学校長
 - ・ 会津若松市立第一中学校長 長瀬 敏
- ・ 社会教育功労者 前山都町公民館長 阿部 裕
- ・ 社会教育関係功績顕著な施設 磐梯町中央公民館
- ・ 芸術・文化財保護功労者 会津美術協会会長 渡部 恵司
- ・ 保健体育功労者 山都一小他学校歯科医 二瓶 博利
- ・ 会津体育協会会長 松枝 和夫
- ・ 保健体育関係功績顕著な団体 会津若松市体育協会
- ・ 会津若松市立城南小学校 特選 会津若松市立城西小学校
- ・ 入選 会津若松市立城西小学校 教諭 山本 靖
- ・ 同 磐梯町立磐梯第一小学校 教諭 佐藤 寅記
- 県表彰関係
- ・ 健康推進学校優秀校 会津高田町立永井野小学校
 - ・ よい歯の学校特別優秀校 喜多方市立第一小学校
 - ・ 学校給食優良団体等 会津若松市立若松西小学校
 - 県教育委員会表彰
 - ・ 喜多方市立第一小学校 学校林活動環境緑化コンクール 学校林活動の部 特別賞
 - ・ 西会津町立野沢小学校 学校環境緑化の部 特別賞
 - ・ 会津高田町立高田小学校 学校安全優良学校
 - ・ 喜多方市立第一幼稚園

「子どもと共に

学ぶ生活科」

会津高田町立赤沢小学校

教諭 十二所 宗子

身近な社会や自然は、未知なもの、不思議なものがたくさん詰まった宝庫である。そのことに気付いた子どもたちは、エネルギッシュで生き生きとした活動を見せ、心の扉が大きく開き出す。

○ 衣服や手の汚れを気にし、作業を好まなかった子どもが、作物の成長に魅せられ、収穫までにつなげた満足感。

○ 心ときめく探検から、こだわりの追求が生まれ、汽車やバスの旅につなげることができた自信。

○ 力を合わせつくりあげた子ども祭りの模擬店が大繁盛、たくさんの方に認められたうれしさ。

○ 人や生きものとの触れ合いが

人生は出会いである。教職在任中、さわやかさが心に残る多くの先輩・同僚にめぐり会えた幸せに感謝している。中でも校長先生(故人)の追憶は、今でも心に熱いものを感じるのである。

教師の仕事は、形として残るもの

の何もないが、多くの教え子たちの生き方に、何らかの働きかけをしていくわけである。思えばこれほど大事な仕事があるだろうか。それぞれの人生をかけての

私の実践

一人一人が受け取る価値はさまざまであろうが、気持ちを広め、共感し合う中で、活動することの充実感を体得させ、自立への基礎を育てていきたい。



心に残った人々

北陽原村教育委員会教育長 須藤 信立

仕事のなかで、何をなし得たかを考えると、教師の日々の実践ほど大事なものは無いはずである。これは、○先生の口ぐせであった。



今、教育のあり方が問われているが、教育の原点は「心の触れ合い」にあると思う。

必ず共通の人間像を見ることが出来る。それは、誠意をもって人に接し、誠実に生きる姿である。

鎌倉時代の古刹・真福寺と

酒造りの神様・松尾神社

西会津町教育委員会

当町の松尾地区にある真福寺は、寺伝では文永五年(一一二五八年)鎌倉五山の第三・寿福寺の慈心和尚がここに来て、地頭の宇田川氏を大旦那として創建したとある。

～地域に学ぶ～

松尾神社は、寺の裏山に鎮座し、古来より酒造の神として会津はもろみ越後の酒造家の厚い信仰を集め、その神水は、種水として仕込みの際に用いるのが吉例となっていた。



真福寺「松尾大明神」社額

社教の窓から

「奥会津・歳時記の里

生涯学習まつり」

三島町教育委員会社会教育主事 中村 政美

平成七年十二月、わが町では、生涯学習活動の理解と紹介を目的に「生涯学習まつり」が実施された。只見川電源流域九カ町村からの作品出品や事例発表などがあり、

生涯学習のあり方について学習したので紹介したい。

推進協議会の結成

「生涯学習まつり」に先立ち、三島町生涯学習推進の組織、推進協議会」の結成大会が行われた。町長の挨拶の後、教育長より経過説明があり、その後、委員三十名に委嘱状が交付された。

実践者事例発表

まず、伊南村で工房「はく」を営まれている大橋博さん。六十歳の手習いで始めた木工作品は玄人はだしである。木工職人をめざす姿が注目を集めた。

次に、剣道で健児育成に努めている、地元三島町の栗城佐さんの発表があった。小学生に剣道を教えて二十年、今年度は団体のデモンストラクション競技に選手を送ったという。

最後に、会津坂下町の太竹博さん。和太鼓を使っているダンス指導は、耳の聞こえない人をも対象にするものである。和太鼓の振動を感じとって踊る姿を実際に見せてくれた。健康づくりから福祉へ広がる仲間の輪は、全国から注目を集めている。

作品研究会と活動発表

書道と絵画の作品展示やコラム発表には、他町村からも大勢の愛好者が詰めかけ、大いに交流を深めることができた。

まだ緒についたばかりの生涯学習の事業である。今回の「生涯学習まつり」を契機として、住民に密着した生涯学習となることを願っている。

私 の 抱 負

心のゆとりをもって

会津若松市立松長小学校

教諭 関根 宏美



「今、忙しいの。」
話しかけてきた子どもに私は
思わずこんな言葉
を返した。がっ

かりしたように伏せた目を見た時
私は胸を突かれる思いがした。

「忙」という言葉は「心を亡くす」と書く。私の心がその言葉どおりだったことは、その子の伏せた目が静かに語っていた。

「忙しさ」は、時間的な問題ではなく、心の問題であると思う。

「忙しい」という言葉で心がいっぱいになった時、子どもの言葉の入るすまがなくなってしまう。「忙しさ」に負けず、さらに豊かな心を持って、子どもの言葉を迎え入れられる教師になりたい。

「ダイヤルSOS」より

いじめ対策事業の一つとして開設された「ダイヤルSOS」を担当して、はや十カ月が過ぎようとしている。その間、受話器の向こうにある子どもたちの、さまざまなたな姿を垣間見てきたような思いがしてならない。

現象面では、不登校、いじめ、集団生活不適応等、多岐にわたっている。断していくかは、容易でないことを痛感している。幼児期から、高校卒業後にいたるまで、彼らの抱えている心の傷は、痛々しいばかりだ。

受話器の向こうに

会津教育事務所
学校アドバイザー 山本 佑一郎

勤めがいのある学校を目指して

金山町立金山小学校

教頭 山口 健



「おはようございます。」
職員室での明るいあいさつで一日が始まる。

楽しい職員室の雰囲気ややる気もわいてくる。楽しい職場、楽しい学校がいじめや登校拒否をなくすもとになる。教頭にとっての学級が職員室である。

また、いろいろな場面で相談を受け、意見を求められることも多い。その場合、校長先生に報告・連絡・相談をして、先生方に対して積極的に支援をしていきたい。

今後さらに、校長先生のご指導のもと、謙虚な姿勢で工夫・改善を加え、勤めがいのある学校、子どもたちが喜んで登校する学校の実現に努力したい。

地域に根ざした教育を

高郷村立高郷第三小学校

校長 横澤イサ子



「川と緑が人を育むさわやかな里たかさと」、大自然のふところに温かく囲まれた高郷第三小学校。

地域社会との連携を密にして魅力ある学校づくりをしていきたい。

そのためには、保護者、住民、地域社会など、学校をとりまく環境との協力をどのように実現し、学校教育を改善していくかということが今後の課題の一つである。

一人一人の子どもの生かす教育を展開するために、地域と歩む学校をつくっていくことが大切である。高郷村民の一員としての自覚を持ち、地域に積極的にいかわり、地域に根ざした教育活動を創意工夫し実践していきたい。

わたしの作品

「夜の風」

詩

会津本郷町立本郷第二小学校
六年 酒井明奈

まっ黒な夜のカーテンをゆらし
風がおこっていた
声をだしておこっていた
わたし何かしたっけ
お母さんのお手伝い忘れたかな
友達との約束かな
それとも

わたしの頭の中にも
風がふく グルグル
ゴーゴー おこっている
考えても 考えてもまきりが
ない
風のおこり声に耳をふさぎ
目をふさいでみたが
風はやみそうにない

クロッキー

「バレーボールシューズ」
昭和村立昭和中学校
二年 湯田 聡



私のアルバムより



天然スギ

会津のような豪雪地には天然杉が見られる。学名アシウスギと呼ばれ、しなやかな幹と黒粒葉枯病に耐える術を持っている。「本名杉」、「飯豊杉」、「吾妻杉」が本県では特に名高い。写真は飯豊連峰立石山にて。

(提供) 喜多方市立関業小学校
校長 小笠井 寛

輝いて100号
県内の
先頭を行く



教育の 夢を求めて
歩み来ぬ
あいつね いつしか
百号となりぬ

(編集子)